

# 英語科学習指導案（3年1組）

令和3年10月8日（金曜日）9:00～9:50 3の1教室

## 1 単元 The Story of Chocolate（PROGRAM 5 Sunshine English Course 3）

### 2 単元の目標

チョコレートの歴史やフェアトレードについて聞いたり読んだりして考えた「貧困を無くすために自分にできること」について、内容の構成や表現を工夫しながら、読み手（級友）にとって読みやすく分かりやすい意見文を書くことができる。

### 3 単元設定の理由

#### (1) 教材観

##### ①単元の価値

本単元は、チョコレートの歴史やフェアトレードについて聞いたり読んだりして考えた「貧困を無くすために自分にできること」について意見文を書く活動を通して、読み手（級友）にとって読みやすく分かりやすい文章を適切かつ正確な英語表現を用いて書く力を高めていくものである。本単元の新出言語材料は、関係代名詞（主格）であり、これまで複数の文で表現していた内容をより簡潔に伝えたり、一文に含まれる名詞に情報を加えながら詳しく伝えたりすることができる。「貧困を無くすために自分にできること」について読み手（級友）にとって読みやすく分かりやすい意見文を書く活動では、チョコレートの歴史やフェアトレードの現状、世界中の貧困に苦しむ人々についての情報、それらに関わる自身の知識や経験等を、例や根拠として挙げたり、内容のまとまりを意識して接続詞や副詞等を効果的に活用して文のつながりを考えたりしながら表現する。そのため、内容を整理し、読み手に分かりやすい構成を考え、まとまりのある内容として表現する力を培うことができる。また、読み手（級友）にとって理解が難しい表現を、既習表現を活用しながら伝わりやすい表現に書き換えたり、正確な英語表現を用いて書いたりすることが求められるため、既習の表現を駆使しながら自分の考えを伝える表現力を養うことができる。さらに、「『貧困を無くすために自分にできること』について読み手にとって読みやすく分かりやすい意見文を書く」という目的において、「内容の構成を工夫したり読み手に伝わりやすい英語を用いたりしながら文章を書く」場面は、「『貧困を無くすために自分にできること』をできる限り分かりやすく伝えて共感をしてもらいたい」という必要感のある状況につながる。そのため、内容の構成を工夫したり、読み手により伝わりやすい表現を使用したりして、主体的に意見文を書こうとする態度を養うことができる。

##### ②単元の系統性

- ・1年生では、自分の好きな人を紹介する活動を通して代名詞（人称や指示、疑問、数量を表すもの）の用法を理解し、人や物の特徴について伝える技能を養ってきた。
- ・2年生のPROGRAM 7では、環境問題や発展途上国の人々の暮らしについて学び、国際協力の視点からよりよい世界をつくっていくために自分にできることについて、意見を述べ合う力を育んだ。3年生のReading 2では、マララさんの生き方について書かれた文章を読んで思いや考えを述べ合ったり意見文を書いたりすることで、よりよい社会をつくっていくためにできることについて、思考を広げ、思いや考えを伝える思考力、判断力、表現力等を身に付けていく。

#### (2) 生徒観（男子16名、女子17名 計33名）

- ・知識・技能については、身に付けた語句や文法の知識を活用して、自分の思いや考えを書くことができる生徒が多い。一方で、語句や文法の知識を正しく活用しながら文章を書くことに課題がある生徒がおり、書かれた文章の中には、語句や文法における誤りが見られる。これは、学習してきた知識の定着が曖昧であったり、誤った知識を正しいと思い込んで使用していたりすることが原因である。
- ・思考・判断・表現については、自分の思いや考えについて、内容面を膨らませながら構成を工夫して文章を書くことができる生徒が多い。一方で、自分が伝えたい表現を、辞書アプリ等を用いて深く考えずに英語に訳してしまっているため、読み手が理解できない表現を使う生徒が多い。これは、専門用語や級友が理解できない単語等を、既習事項を活用したり級友が理解できる表現に言い換えたりしながら表現する力が育成されていないことが原因である。

#### (3) 指導観

- ・既習の知識に基づき、正確な表現を書くために自己修正やピアチェックを行い、さらに文法校正アプリを活用した文法の修正の学習過程を経ることで、文章中の文法の誤りに気付き、修正する技能を養えるようにする。
- ・帯活動では、本題材に関わる専門用語や単語等を級友が理解できるような簡単な表現に言い換えたり説明したりする活動を継続して行うことで、既習事項や相手が理解しやすい表現を活用しながら、話したり書いたりする力を養えるようにする。

4 指導と評価の計画 英語科 3年 PROGRAM 5 The Story of Chocolate (全9時間計画)

目標	チョコレート <small>の歴史やフェアトレードについて聞いたり読んだりして考えた「貧困を無くすために自分にできること」について、内容の構成や表現を工夫しながら、読み手（級友）にとって読みやすく分かりやすい意見文を書くことができる。</small>					
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	①関係代名詞（主格）の使用場面や用法を理解している。 ②既習事項や関係代名詞（主格）を正確に用いながら、「貧困を無くすために自分にできること」について意見文を書くことができる。	聞いたり読んだりしたことを基に「貧困を無くすために自分にできること」についての自分の考えや感じたことをまとめ、内容の構成や表現を工夫しながら、読み手にとって読みやすく分かりやすい意見文を書くことができる。	聞いたり読んだりしたことを基に「貧困を無くすために自分にできること」についての自分の考えや感じたことをまとめ、内容の構成や表現を工夫しながら、読み手にとって読みやすく分かりやすい意見文を書こうとしている。			
過程	時間	◎目標・課題	○学習活動	重点	記録	備考
つかむ	1	◎「貧困を無くすために自分にできること」についての自分の考えや感じたことを書こうとしている。  「貧困を無くすために自分にできること」は何だろうか。	○本単元の活動の目的・場面・状況等を知り、意見文を書く活動に取り組む。（試しの活動） ○Can-do Listを用いて、言語面と内容面における本単元の個人目標を設定する。	態		・単元を通して、本題材に関わる専門用語や単語を、既習事項を用いて言い換えたり説明したりさせる指導を継続して行う。
<b>単元の課題：</b> 「貧困を無くすために自分にできること」について、内容の構成や表現を工夫しながら、読み手（級友）にとって読みやすく分かりやすい意見文を書こう。						
追究する	1	◎関係代名詞（主格）whoの使用場面や用法を理解し、それが使われた「チョコレートの起源」について書かれた教科書本文を読んで内容を理解することができる。  昔、「チョコレート」はどのように人々に楽しまれていたのだろうか。	○関係代名詞（主格）whoを使って、ペアで会話を行う。 ○教科書本文を黙読したり音読したりしながら、内容を理解する。 ○チョコレートの歴史について分かったことを、写真やキーワードを参考に伝え合う。	知①		・単元を通じて、読み手にとって読みやすく分かりやすい意見文を書くための要点を掲示し、意識させ続ける。その際、「読みやすい」の要点は、「内容の構成が工夫されていること」、「分かりやすい」の要点は、「正確な英語を用いること」「既習表現を用いて伝わりやすい表現を用いること」とする。 ・本単元を通して指導したことがどの程度身に付いたかを評価するために後日ペーパーテストを行う。
	1	◎関係代名詞（主格）whichの使用場面や用法を理解し、それが用いられた「現代のようなチョコレートが生まれた経緯」について書かれた教科書本文を読んで内容を理解することができる。  「現代のようなチョコレート」はどのように生まれたのだろうか。	○関係代名詞（主格）whichを使って、ペアで会話を行う。 ○教科書本文を黙読したり音読したりしながら、内容を理解する。 ○「現代のようなチョコレートがどのように生まれたのか」について分かったことを、写真やキーワードを参考に伝え合う。	知①		
	1	◎関係代名詞（主格）thatの使用場面や用法を理解し、それが用いられた「カカオ農園の問題」や「フェアトレード」について書かれた教科書本文を読んで内容を理解することができる。  「カカオ農園の問題」を解決するための1つの方法であるフェアトレードとはどのようなものだろうか。	○関係代名詞（主格）thatを使って、ペアで会話を行う。 ○教科書本文を黙読したり音読したりしながら、内容を理解する。 ○「カカオ農園の問題」や「フェアトレード」について分かったことを、写真やキーワードを参考に伝え合う。	知①		

	1	<p>◎チョコレートの歴史やフェアトレードについて聞いたり読んだりして考えた「貧困を無くすために自分にできること」について、メモを基に意見を述べ合うことができる。</p> <p>「貧困を無くすために自分にできること」は何だろうか。</p>	<p>○前時に学習したフェアトレードのよい点やそれに関わる自身の経験等について考えを伝え合う。</p> <p>○「貧困を無くすために自分にできること」について、意見を述べ合う。</p> <p>○意見を述べる際に必要な情報を、「ロイロノート（デジタルシンキングツール）」にメモする。</p>	思		
	1	<p>◎「貧困を無くすために自分にできること」について、これまでの学習を通して集めた情報や自身の経験等を基に、内容の構成を工夫しながら、意見文を書こうとしている。</p> <p>「貧困を無くすために自分にできること」について、内容の構成を工夫しながら意見文を書こう。</p>	<p>○「貧困を無くすために自分にできること」について、情報や経験等を基に意見文を書く。</p> <p>○互いの意見文を読み合い、質問をしたり意見を伝えたりしながらやり取りをする。</p> <p>○友達の意見文を読んでやり取りを通して更に付け加えたい情報や修正したい内容を、意見文に書き込む。</p>	態	○	<p>態：記述分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「貧困を無くすために自分にできること」について、これまでに集めた情報や自身の経験等を基に内容の構成を工夫しながら、意見文を書こうとしている。</li> </ul>
ま と め	1	<p>◎「貧困を無くすために自分にできること」について、読み手（級友）にとって読みやすく分かりやすい意見文にするために、文章の内容の構成に修正を加えたり、情報を付け加えたりすることができる。</p> <p>読み手にとって読みやすく分かりやすい意見文になるように、内容の構成に修正を加えたり、情報を付け加えたりしよう。</p>	<p>○意見文の内容の構成に修正を加えたり、情報を付け加えたりする。</p> <p>○書いた文章を読み返して、文法上の誤りを自己修正したりピアチェックをしたりしながら、正確な文法が用いられた文章になるように修正する。</p>	思	○	<p>思：記述分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「貧困を無くすために自分にできること」について、読み手にとって読みやすく分かりやすい意見文になるように、内容の構成に修正を加えたり、情報を付け加えたりすることができる。</li> </ul>
	1 (本 時)	<p>◎文法校正アプリを活用し文法上の誤りを既得の知識に基づき修正したり読み手に伝わりやすい表現に書き換えたりしながら、読み手（級友）にとって読みやすく分かりやすい意見文になるように書き換えることができる。</p> <p>読む人にとって読みやすく分かりやすい意見文になるように、文法上の誤りを修正したり、伝わりやすい表現になるように書き換えたりしよう。</p>	<p>○文法校正アプリを活用して指摘された文法上の誤りを修正する。</p> <p>○文法校正アプリを活用して文法上の誤りを修正した意見文をペアで読み合い、「読みやすく分かりやすいか」という点についてコメントや感想を伝え合う。</p>	知 ②	○	<p>知②：記述分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文法上の誤りを既得の知識に基づき修正したり読み手に伝わりやすい表現に書き換えたりしながら、読み手にとって読みやすく分かりやすい意見文になるように書き換えることができる。</li> </ul>
	1	<p>◎「貧困を無くすために自分にできること」について、内容の構成や表現を工夫しながら、読み手（級友）にとって読みやすく分かりやすい意見文を書くことができる。</p> <p>読む人にとって読みやすく分かりやすい意見文を完成させよう。</p>	<p>○前時までの内容の構成や表現への修正を基に、意見文を完成させる。</p> <p>○完成した意見文を読み合い、考えや感想を述べ合う。</p> <p>○本単元の振り返りを通して、自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明らかにする。</p>	表	○	<p>表：記述分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の構成や表現を工夫しながら、読み手（級友）にとって読みやすく分かりやすい意見文を書くことができる。</li> </ul>

5 本時の展開 (8/9)

(1) 目標 文法上の誤りを修正したり読み手に伝わりやすい表現に書き換えたりしながら、読み手にとって読みやすく分かりやすい意見文に書き換えることができる。

(2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点及び支援・評価
<p><b>1 帯活動を行う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本題材に関わる専門用語や単語を、既習表現を活用して言い換えたり説明したりする。</li> </ul> <p><b>2 本時の課題をつかむ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教師のモデル文を読み、読みやすく分かりやすい意見文にするために、表現を修正する際の要点をつかむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門用語や単語を、既習事項を活用して言い換えたり説明したりするための表現を板書して示すことで、次の活動で生かすことができるようにする。</li> <li>○本単元において前時まで確認してきた、読み手にとって読みやすく分かりやすい意見文を書くための要点を板書しながら再度確認することで、要点を意識しながら本時の活動に取り組めるようにする。</li> </ul>
<p><b>課題：</b>読む人にとって読みやすく分かりやすい意見文になるように、文法上の誤りを修正したり、伝わりやすい表現になるように書き換えたりしよう。</p>	
<p><b>3 文法校正アプリを使って文法上の誤りを修正する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文法校正アプリで指摘された文法上の誤りを修正する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に文法の誤りを修正したつもりだったが、アプリを使うとまだこんなに誤りがあるんだな。</li> <li>・この誤りは、関係代名詞が正しく使えていないことによるものだな。</li> <li>・誤りを修正したが、修正後の表現は習っていないから伝わりにくいかもしれないな。</li> </ul> </li> <li>○代表生徒の修正中または修正後の文章を読みながら、修正した表現がより読みやすく分かりやすくなっていることを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を使って、誤りを修正すると、分かりやすい表現になるな。</li> </ul> </li> <li>○代表生徒の修正を参考に、更に文章を修正する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに習った知識を使って、誤りを修正して、読む人にとって分かりやすい意見文にしよう。</li> <li>・誤りを、辞書アプリを使って修正したが、習っていない表現なので分かりにくいな。どう言い換えたらいいだろう。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>4 修正した文章を読み合う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ペアで意見文を読み合い、コメントや感想を伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・正確で伝わりやすい表現を使うことで、分かりやすいと言ってもらえて嬉しい。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>5 本時のまとめと振り返りをする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Can-do Listに本時のまとめと振り返りを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文法校正アプリで指摘された文法上の誤りや伝わりにくい表現は、指摘された理由をグループで確認し合ったり教え合ったりしながら修正を行わせることで、既習事項を基に表現を書き換えることができるようにする。</li> <li>○既習事項が十分に身に付いていないことから指摘された誤りを修正することが難しい生徒には、辞書アプリや教科書の文法上の知識がまとめられているページ等を活用させることで、修正できるようにする。</li> <li>○辞書アプリや教科書上の知識がまとめられているページを活用しても指摘された誤りを修正できない生徒には、文法の規則を個別で伝えたり、関連する知識を振り返らせたりすることで、修正できるようにする。</li> <li>○代表生徒の意見文を、「ロイロノート」の画面共有を使って全体に共有することで、修正した箇所が明確になるとともに、修正したことによって文章がより分かりやすくなったという効果を実感できるようにする。</li> <li>○代表生徒が既習事項を活用して誤りを修正している点をよい例として伝えることで、既習の知識を活用して誤りを修正しようとする意識を高められるようにする。</li> <li>○誤りを修正し終えた生徒には、他の生徒の修正を手伝うようにさせる。その際、代表生徒が修正した例を参考にさせることで、既習事項を活用しながら文章を修正する手助けができるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【知識・技能】</b>  文法校正アプリを活用し文法上の誤りを修正したり読み手に伝わりやすい表現に書き換えたりしながら、読み手にとって読みやすく分かりやすい意見文に書き換えることができている。(意見文への記述)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○修正した文章をペアで読み合い、「読みやすく分かりやすい意見文か(文法が正確かどうか・既習事項を活用して伝わりやすい表現になっているか)」という点についてコメントや感想を伝えさせることで、本時の学習を通して文章がよりよくなったことの実感をもたせられるようにする。</li> <li>○本時の目標に対して「できたこと」と「課題」について振り返りをさせることで、自身の成果と課題を明らかにし、次の学習に生かすことができるようにする。</li> </ul>
<p><b>&lt;まとめ・振り返り&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分では見つけることができなかつた間違いを見つけ、修正することができた。これから、文章を書くときには今回の学習を生かし、正しい表現を使えるようにしたい。</li> <li>・これまでに習った表現を活用することで、読み手にとって分かりやすい意見文になった。今後文章を書く際には、これまでに習った表現を使っていきたい。</li> </ul>	
<p><b>&lt;「学びの質」を高めるための具体的な手立て&gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) デジタルシンキングツールを活用した、表現内容と修正の過程の視覚化</li> <li>(2) 自己省察力と自己修正力を高めるためのピアチェック活動の設定と文法校正アプリの活用</li> </ol>	